

大垣市第4期障害福祉計画体系図



第1章 策定の基本方針

1 計画策定の趣旨

(1) 計画策定の背景

平成18年度に施行された「障害者自立支援法」により、身体障がい者及び知的障がい者に加え、支援費制度の対象でなかった精神障がい者も含めた一元的な制度が確立されました。また、同法においては、地域生活への移行や就労支援といった課題に対応するとともに、障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むために必要な障害福祉サービスや相談支援等が受けられるよう、福祉施設や事業体系の抜本的な見直しが行われました。さらに、市町村及び都道府県に対して障害福祉計画の作成を義務付け、サービスの提供体制を計画的に整備する仕組みが導入されました。

その後、「障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律（以下「整備法」という。）」の施行による利用者負担の見直し、相談支援の充実等を経て、平成25年度には、障害者自立支援法が、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）」として改正されました。

障害者総合支援法では、社会参加の機会の確保及び「どこで誰と生活するか」についての選択の機会が確保され、地域社会における共生を妨げられないことや社会的障壁の除去に資するよう、総合的かつ計画的に行わなければならないことを基本理念として掲げるとともに、難病患者も障害福祉サービスを受けられるようになりました。

また、整備法により、平成24年度から障がい児の通所支援は、県が実施してきた事業も含めて児童福祉法に基づき実施されることとなり、制度の一元化に加え、学齢児へのサービスや相談支援の充実が図られました。

障害福祉計画については、国の示す「障害福祉サービス及び相談支援並びに市町村及び都道府県の地域生活支援事業の提供体制の整備並びに自立支援給付及び地域生活支援事業の円滑な実施を確保するための基本的な指針（以下「基本指針」という。）」が、平成26年5月に改正され、第4期計画策定の方針が示されました。

こうしたなか、本市では、平成18年度に第1期障害福祉計画を策定して以降、平成20年度に第2期障害福祉計画を、平成23年度には、平成24年度から平成26年度までの3か年を計画期間とする第3期障害福祉計画を策定し、障害福祉サービスや相談支援、地域生活支援事業の提供体制の確保に努めてきました。

このたび、平成27年度から平成29年度までの3年間を計画期間とする第4期障害福祉計画を、これまでの計画目標の達成状況や課題を踏まえて策定します。

(2) 国における「基本指針」の主な改正内容

平成26年5月の基本指針改正の内容は次のとおりであり、これらの事項を踏まえて第4期障害福祉計画を策定するものです。

(1) 障がい者の地域生活の支援のための規定の整備

地域における障がい者の生活支援のために求められる機能を集約した拠点の整備の方向性等が定められました。

(2) 相談支援体制の充実・強化に関する規定の整備

計画相談支援の利用者数の増加に向けた更なる体制の整備、地域移行支援及び地域定着支援の体制の整備、協議会における関係者の有機的な連携の必要性等が定められました。

(3) 障がい児支援の体制整備に係る規定の整備

子ども・子育て支援法に基づき、都道府県及び市町村が作成する子ども・子育て支援計画において、障がい児支援について記載されることを踏まえ、障がい児支援の提供体制の確保に関する事項が定められました。

(4) 障害福祉計画の作成に係る平成29年度までの重点課題と数値目標

①福祉施設の入所者の地域生活への移行

- ・施設入所者の地域生活への移行者数の目標が設定されました。
- ・施設入所者の削減数の目標が設定されました。

②地域生活支援拠点等の整備

- ・障がい者の地域での生活を支援する拠点等の整備に関する事項が定められました。

③福祉施設から一般就労への移行等

- ・福祉施設から一般就労への移行者数の目標が設定されました。
- ・就労移行支援事業の利用者数の目標が設定されました。
- ・就労移行支援事業所ごとの就労移行率に関する目標が設定されました。

(5) 市町村及び都道府県が障害福祉計画に定めるべき事項について、調査、分析、及び評価を行うことに関する規定の整備

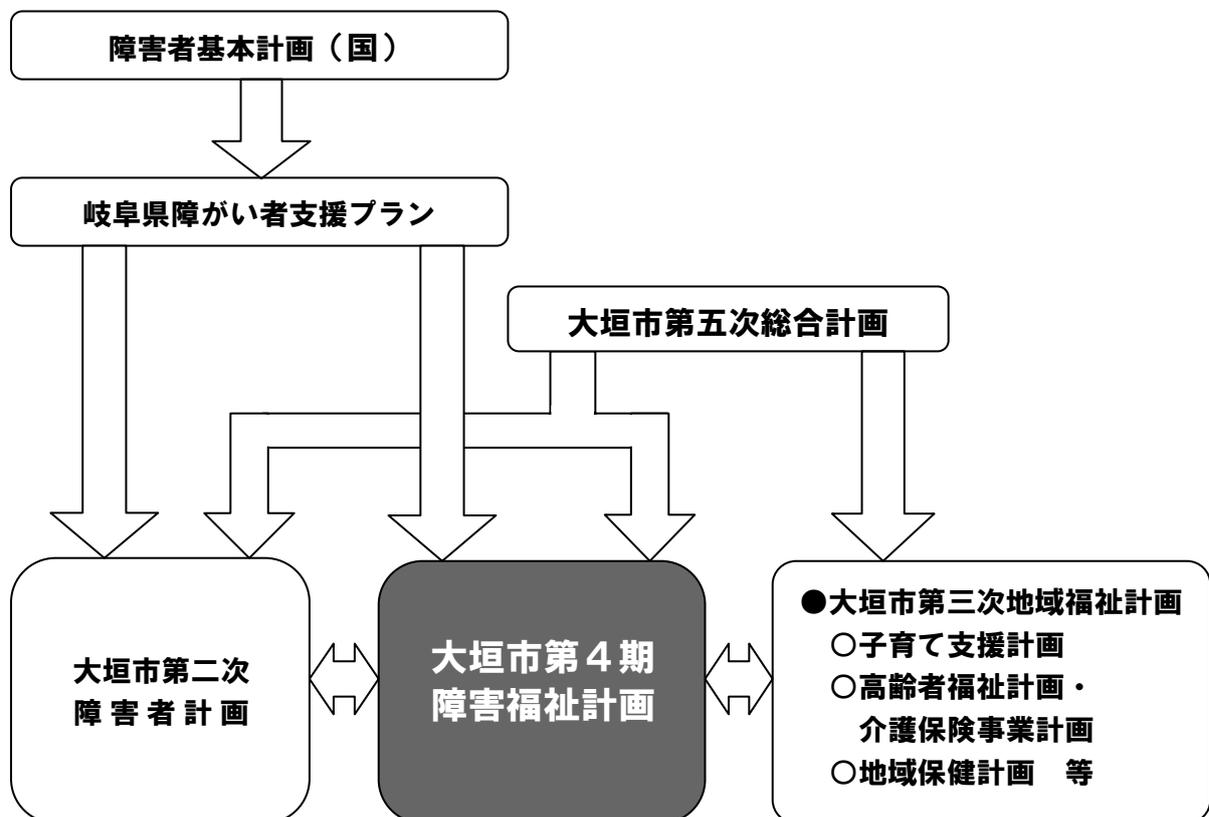
障害福祉計画における目標等について、少なくとも年1回は実績を把握し、障がい者施策や関連施策の動向も踏まえながら分析及び評価を行い、必要に応じて障害福祉計画の見直しの措置(PDCA)を講じること等が定められました。

2 計画の位置づけ

大垣市第4期障害福祉計画は、障害者総合支援法第88条に規定する「市町村障害福祉計画」であり、国の示す基本指針に基づき、障害福祉サービスや地域生活支援事業の区分ごとに必要な見込量や、その見込量確保のための方策を定めるものです。

また、障害者基本法に基づく大垣市第二次障害者計画をはじめ、大垣市第三次地域福祉計画や大垣市第五次総合計画など、障がい者等の福祉に関する事項を定めた他の計画と連携しながら、総合的かつ計画的に取り組みます。

図 計画の位置づけ



3 計画の期間

本計画は、平成27年度から平成29年度までの3か年を計画期間とします。
 なお、障がい者施策の実施状況及び社会状況等の変化に対応し、障がいのある人の意向等も踏まえ、評価ならびに見直しを行うものとします。

図 計画の期間

年度		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
国	障害者基本計画	第2次							第3次					
	岐阜県障がい者支援プラン	第1期			第2期					第3期(予定)				
県	岐阜県障害福祉計画	第1期		第2期			第3期			第4期(予定)				
	大垣市障害者計画	第一次				第二次								
大垣市	大垣市障害福祉計画	第1期	第2期			第3期			第4期(予定)					

4 計画の策定体制

本計画の策定にあたり、「大垣市障がい者の暮らしを支える協議会」での意見を踏まえ、庁内組織である「推進委員会」及び「幹事会」で検討した後、「大垣市障害者計画・障害福祉計画策定・評価委員会」に諮問し、審議します。

○ 大垣市障害者計画・障害福祉計画策定・評価委員会

(ア) 役割

学識経験者をはじめ、保健・医療・福祉関係者および障がいのある人の代表者、公募の市民などが審議し、計画案を市長に提言します。

(イ) 委員 (26人)

学識経験のある者、社会福祉を目的とする事業を経営する者、社会福祉に関する活動を行う者、市民公募による者、その他市長が必要と認める者

○ 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会

(ア) 役割

相談支援事業者や障がい者関係団体などが、計画案に対する意見を提言します。

(イ) 委員 (18人)

相談支援事業者、障がい者関係団体、雇用関係機関、教育関係機関、医療関係機関、障害福祉サービス事業者から選出された者、その他市長が必要と認める者

○ 推進委員会

(ア) 役割

計画の策定及び推進に関することや、計画等の策定及び推進における関係部課の総合調整、その他推進委員会が必要と認める事項について検討します。

(イ) 委員 (19人)

副市長、教育長、技監、企画部長、総務部長、かがやきライフ推進部長、生活環境部長、福祉部長、子育て支援部長、経済部長、建設部長、水道部長、都市計画部長、上石津地域事務所長、墨俣地域事務所長、市民病院事務局長、議会事務局長、教育委員会事務局長、消防長

○ 幹事会

(ア) 役割

推進委員会を補助し、具体的な内容を検討します。

(イ) 委員

関係各課の長等

5 障がい者のニーズの把握

本計画の策定にあたり、障がい者団体を通じてアンケート調査を実施し、福祉サービスの利用実態や福祉に関する意識など、障がい者等のニーズを把握しました。

(1) 調査期間

平成26年7月29日～8月15日（調査基準日 平成26年8月1日）

(2) 調査対象者

①障がい者団体等	対象数	17団体	回収数	17団体	(回収率 100%)
②障がい者等	対象数	320人	回収数	264人	(回収率 82.5%)

(3) 調査方法

2種類のアンケートを団体等を通じて、配布・回収する方法により実施しました。

- ①障がい者団体等：5問からなる記述式のアンケート
- ②障がい者等：38問（児童は33問）からなる選択式のアンケート

(4) アンケートにご協力いただいた団体等

- ・岐阜県身体障害者福祉協会 大垣支部
 - ・大垣市肢体不自由児・者 障害児・者父母の会
 - ・重症心身障害児(者)親の会
 - ・大垣視覚障害者福祉協会
 - ・大垣聴覚障害者福祉協会
 - ・腎友会
 - ・大垣市手をつなぐ親の会
 - ・かわなみ作業所父母の会
 - ・大垣市柿の木荘保護者会
 - ・社会福祉法人 ともえ会 かがやきネットワーク保護者会
 - ・パン工房ドリーム保護者会
 - ・特定非営利活動法人 西濃地域精神障害者家族会 いぶき会
 - ・地域活動支援センター せせらぎ
 - ・岐阜県自閉症協会 大垣市ブロック
 - ・大垣市立ひまわり学園親の会
 - ・大垣特別支援学校PTA
 - ・特定非営利活動法人 岐阜県難病団体連絡協議会
- 以上17団体

(5) 個人へのアンケート調査での主な質問と回答（障がい者）

質問	回答	回答数	比率
問1 お答えいただくのは、どなたですか。 (○は1つだけ)	1. 本人(障がいをお持ちの方)	77	38.7%
	2. 本人の家族	119	59.8%
	3. 家族以外の介助者	3	1.5%
問2 あなたの年齢をお答えください。 (平成26年8月1日現在)	10代	9	4.5%
	20代	46	23.1%
	30代	48	24.1%
	40代	44	22.1%
	50代	19	9.6%
	60代	19	9.6%
	70代	11	5.5%
	80代	3	1.5%
問3 あなたの性別をお答えください。 (○は1つだけ)	1. 男性	122	61.3%
	2. 女性	77	38.7%
問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。 (あてはまるものすべてに○) ※グループホーム、福祉施設等を利用されている方は「8.」としてください。	1. 父	110	25.7%
	2. 母	114	26.7%
	3. 祖父母	27	6.3%
	4. 兄弟姉妹	63	14.7%
	5. 配偶者	39	9.1%
	6. 子ども	30	7.0%
	7. その他	4	0.9%
	8. いない (一人暮らしまたは施設入所、グループホーム)	41	9.6%
問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)	1. ひとりできる	122	61.9%
	2. 一部介助が必要	48	24.4%
	3. 全部介助が必要	27	13.7%
①食事	1. ひとりできる	115	57.8%
	2. 一部介助が必要	55	27.6%
	3. 全部介助が必要	29	14.6%
②トイレ	1. ひとりできる	97	49.2%
	2. 一部介助が必要	60	30.5%
	3. 全部介助が必要	40	20.3%
③入浴	1. ひとりできる	117	59.7%
	2. 一部介助が必要	50	25.5%
	3. 全部介助が必要	29	14.8%
④衣服の着脱	1. ひとりできる	90	45.5%
	2. 一部介助が必要	68	34.3%
	3. 全部介助が必要	40	20.2%
⑤みだしなみ	1. ひとりできる	148	75.1%
	2. 一部介助が必要	25	12.7%
	3. 全部介助が必要	24	12.2%
⑥家の中の移動	1. ひとりできる	57	29.4%
	2. 一部介助が必要	61	31.4%
	3. 全部介助が必要	76	39.2%
⑦外出	1. ひとりできる		
	2. 一部介助が必要		
	3. 全部介助が必要		

質問	回答	回答数	比率
⑧家族以外の人との意思疎通	1. ひとりできる	83	42.6%
	2. 一部介助が必要	48	24.6%
	3. 全部介助が必要	64	32.8%
⑨お金の管理	1. ひとりできる	67	34.0%
	2. 一部介助が必要	31	15.7%
	3. 全部介助が必要	99	50.3%
⑩薬の管理	1. ひとりできる	76	38.8%
	2. 一部介助が必要	31	15.8%
	3. 全部介助が必要	89	45.4%
【問5で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と答えた方】 問6 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)	1. 父	59	21.4%
	2. 母	114	41.3%
	3. 祖父母	7	2.5%
	4. 兄弟姉妹	22	8.0%
	5. 配偶者	15	5.4%
	6. 子ども	11	4.0%
	7. ホームヘルパーや施設の職員	39	14.1%
	8. その他の人(ボランティア等)	9	3.3%
【問6で1.～6.を答えた方】 問7 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、健康状態をお答えください。 ①年齢(平成26年8月1日現在)	30代	5	3.6%
	40代	22	15.6%
	50代	45	31.9%
	60代	42	29.8%
	70代	23	16.3%
	80代	4	2.8%
	90代	0	0.0%
②健康状態 (○は1つだけ)	1. よい	41	26.8%
	2. ふつう	86	56.2%
	3. よくない	26	17.0%
問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)	1. 1級	56	30.9%
	2. 2級	32	17.7%
	3. 3級	17	9.4%
	4. 4級	2	1.1%
	5. 5級	0	0.0%
	6. 6級	1	0.6%
	7. 持っていない	73	40.3%
問9 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。(○は1つだけ)	1. 視覚障がい	13	11.3%
	2. 聴覚障がい	12	10.4%
	3. 音声・言語・そしゃく機能障がい	5	4.4%
	4. 肢体不自由(上肢)	13	11.3%
	5. 肢体不自由(下肢)	19	16.5%
	6. 肢体不自由(体幹)	36	31.3%
	7. 内部障がい(1～6以外)	17	14.8%
問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。(○は1つだけ)	1. A判定	27	15.1%
	2. A1判定	42	23.5%
	3. A2判定	31	17.3%
	4. B1判定	9	5.0%
	5. B2判定	8	4.5%
	6. 持っていない	62	34.6%

質問	回答	回答数	比率
問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。 (○は1つだけ)	1. 1級	6	3.6%
	2. 2級	13	7.9%
	3. 3級	5	3.0%
	4. 持っていない	141	85.5%
問12 あなたは難病(特定疾患)の認定を受けていますか。 (○は1つだけ)	1. 受けている	15	8.4%
	2. 受けていない	163	91.6%
問13 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。 (○は1つだけ)	1. ある	57	31.5%
	2. ない	124	68.5%
問14 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。(あてはまるものすべてに○)	1. 気管切開	4	3.9%
	2. 人工呼吸器(レスピレーター)	2	1.9%
	3. 吸入	5	4.9%
	4. 吸引	6	5.8%
	5. 胃ろう・腸ろう	2	1.9%
	6. 鼻腔経管栄養	4	3.9%
	7. 中心静脈栄養(IVH)	0	0.0%
	8. 透析	10	9.7%
	9. カテーテル留置	0	0.0%
	10. ストマ(人工肛門・人工膀胱)	0	0.0%
	11. 服薬管理	63	61.2%
	12. その他	7	6.8%
問15 あなたは現在どのように暮らしていますか。 (○は1つだけ)	1. 一人で暮らしている	19	9.7%
	2. 家族と暮らしている	152	77.5%
	3. グループホームで暮らしている	6	3.1%
	4. 福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている	19	9.7%
	5. 病院に入院している	0	0.0%
	6. その他	0	0.0%
【問16及び問17は、問15で4.又は5.を選択した場合にお答えください。】 問16 あなたは将来、地域で生活したいと思いますか。 (○は1つだけ)	1. 今のまま生活したい	16	55.2%
	2. グループホームなどを利用したい	9	31.0%
	3. 家族と一緒に生活したい	4	13.8%
	4. 一般の住宅で一人暮らしをしたい	0	0.0%
	5. その他	0	0.0%
問17 地域で生活するためには、どのような支援があればよいと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 在宅で医療ケアなどが適切に得られること	41	9.4%
	2. 障がい者に適した住居の確保	63	14.4%
	3. 必要な在宅サービスが適切に利用できること	65	14.8%
	4. 生活訓練等の充実	37	8.4%
	5. 経済的な負担の軽減	74	16.9%
	6. 相談対応等の充実	46	10.5%
	7. 地域住民等の理解	67	15.3%
	8. コミュニケーションについての支援	41	9.4%
	9. その他	4	0.9%
問18 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。 (○は1つだけ)	1. 毎日外出する	96	50.0%
	2. 1週間に数回外出する	71	37.0%
	3. めったに外出しない	20	10.4%
	4. まったく外出しない	5	2.6%

質問	回答	回答数	比率
【問19から問22は、問18で、4.以外を選択した場合にお答えください。】 問19 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。 (○は1つだけ)	1. 父	23	10.4%
	2. 母	86	38.7%
	3. 祖父母	1	0.4%
	4. 兄弟姉妹	10	4.5%
	5. 配偶者	14	6.3%
	6. 子ども	9	4.1%
	7. ホームヘルパーや施設の職員	32	14.4%
	8. その他の人(ボランティア等)	6	2.7%
	9. 一人で外出する	41	18.5%
問20 あなたが外出する際の主な交通手段はどのようなものですか。 (○は1つだけ)	1. 自転車	17	7.6%
	2. 車いす・電動車いす	3	1.3%
	3. 自分で運転する自動車	33	14.7%
	4. 家族が運転する自動車	110	48.9%
	5. 電車	4	1.8%
	6. 路線バス	5	2.2%
	7. 施設等の送迎バス	28	12.4%
	8. タクシー	9	4.0%
	9. 徒歩	12	5.3%
	10. その他	4	1.8%
問21 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 通勤・通学・通所	120	23.2%
	2. 訓練やリハビリに行く	26	5.0%
	3. 医療機関への受診	99	19.1%
	4. 買い物に行く	120	23.2%
	5. 友人・知人に会う	38	7.4%
	6. 趣味やスポーツをする	35	6.8%
	7. グループ活動に参加する	30	5.8%
	8. 散歩に行く	42	8.1%
	9. その他	7	1.4%
問22 外出する時に困ることは何ですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 公共交通機関が少ない(ない)	45	11.8%
	2. 列車やバスの乗り降りが困難	39	10.3%
	3. 道路や駅に階段や段差が多い	43	11.3%
	4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	33	8.7%
	5. 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	43	11.3%
	6. 介助者が確保できない	31	8.2%
	7. 外出にお金がかかる	28	7.4%
	8. 周囲の目が気になる	33	8.7%
	9. 発作など突然の身体の変化が心配	36	9.5%
	10. 困った時にどうすればいいの心配	37	9.7%
	11. その他	12	3.1%
問23 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。 (○は1つだけ)	1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	33	16.2%
	2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	1	0.5%
	3. 専業主婦(主夫)をしている	8	3.9%
	4. 福祉施設、作業所等に通っている(就労継続支援A型も含む)	109	53.4%

質問	回答	回答数	比率
	5. 病院などのデイケアに通っている	5	2.4%
	6. リハビリテーションを受けている	3	1.5%
	7. 自宅で過ごしている	22	10.8%
	8. 入所している施設や病院等で過ごしている	20	9.8%
	9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	0	0.0%
	10. その他	3	1.5%
【問 23 で、1. を選択した場合にお答えください。】 問 24 どのような勤務形態で働いていますか。 (○は1つだけ)	1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない	13	40.6%
	2. 正職員で短時間勤務などの障がい者配慮がある	2	6.3%
	3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員	7	21.9%
	4. 自営業、農林水産業など	10	31.2%
	5. その他	0	0.0%
【問 25 及び問 26 は、問 23 で、1. 以外を選択した方にお聞きします。】 問 25 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。 (○は1つだけ)	1. 仕事をしたい	58	41.4%
	2. 仕事をしたくない、できない	82	58.6%
問 26 収入を得る仕事を得るために、職業訓練などを受けたいと思いますか。 (○は1つだけ)	1. すでに職業訓練を受けている	15	11.6%
	2. 職業訓練を受けたい	34	26.4%
	3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	80	62.0%
問 27 あなたは、障がい者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 通勤手段の確保	76	12.1%
	2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	48	7.6%
	3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮	56	8.9%
	4. 在宅勤務の拡充	33	5.2%
	5. 職場の障がい者理解	108	17.2%
	6. 職場の上司や同僚に障がいの理解があること	98	15.6%
	7. 職場で介助や援助等が受けられること	68	10.8%
	8. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	58	9.2%
	9. 企業ニーズに合った就労訓練	36	5.7%
	10. 仕事についての職場外での相談対応、支援	42	6.7%
	11. その他	6	1.0%
問 28 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)	1. 区分1	7	4.3%
	2. 区分2	6	3.7%
	3. 区分3	13	8.1%
	4. 区分4	16	10.0%
	5. 区分5	22	13.7%
	6. 区分6	39	24.2%
	7. 受けていない	58	36.0%

質問	回答	回答数	比率
問 29 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。	1. 利用している	15	10.0%
	2. 利用していない	135	90.0%
①居宅介護	1. 今後利用したい	48	36.6%
	2. 今後利用しない	83	63.4%
②重度訪問介護	1. 利用している	12	9.2%
	2. 利用していない	118	90.8%
	1. 今後利用したい	46	41.1%
	2. 今後利用しない	66	58.9%
③同行援護	1. 利用している	8	16.3%
	2. 利用していない	41	83.7%
	1. 今後利用したい	11	32.4%
	2. 今後利用しない	23	67.6%
④行動援護	1. 利用している	19	19.2%
	2. 利用していない	80	80.8%
	1. 今後利用したい	56	66.7%
	2. 今後利用しない	28	33.3%
⑤重度障害者等包括支援	1. 利用している	7	6.0%
	2. 利用していない	110	94.0%
	1. 今後利用したい	46	46.5%
	2. 今後利用しない	53	53.5%
⑥生活介護	1. 利用している	55	39.3%
	2. 利用していない	85	60.7%
	1. 今後利用したい	70	61.9%
	2. 今後利用しない	43	38.1%
⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)	1. 利用している	33	24.8%
	2. 利用していない	100	75.2%
	1. 今後利用したい	59	52.2%
	2. 今後利用しない	54	47.8%
⑧就労移行支援	1. 利用している	7	5.6%
	2. 利用していない	117	94.4%
	1. 今後利用したい	22	20.6%
	2. 今後利用しない	85	79.4%
⑨就労継続支援(A型、B型)	1. 利用している	30	26.3%
	2. 利用していない	84	73.7%
	1. 今後利用したい	42	41.6%
	2. 今後利用しない	59	58.4%
⑩療養介護	1. 利用している	7	9.6%
	2. 利用していない	66	90.4%
	1. 今後利用したい	25	39.7%
	2. 今後利用しない	38	60.3%
⑪短期入所(ショートステイ)	1. 利用している	34	24.8%
	2. 利用していない	103	75.2%
	1. 今後利用したい	81	66.9%
	2. 今後利用しない	40	33.1%
⑫共同生活援助(グループホーム)	1. 利用している	18	14.8%
	2. 利用していない	104	85.2%
	1. 今後利用したい	58	58.6%
	2. 今後利用しない	41	41.4%
⑬施設入所支援	1. 利用している	18	13.4%
	2. 利用していない	116	86.6%
	1. 今後利用したい	78	61.9%
	2. 今後利用しない	48	38.1%

質問	回答	回答数	比率
問 30 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 家族や親せき	133	30.1%
	2. 友人・知人	58	13.1%
	3. 近所の人	3	0.7%
	4. 職場の上司や同僚	16	3.6%
	5. 施設の指導員など	77	17.4%
	6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人	19	4.3%
	7. 障がい者団体や家族会	24	5.4%
	8. かかりつけの医師や看護師	66	14.9%
	9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	11	2.5%
	10. 民生委員・児童委員	3	0.7%
	11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	13	3.0%
	12. 行政機関の相談窓口	16	3.6%
	13. その他	3	0.7%
問 31 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	50	11.1%
	2. 行政機関の広報誌	69	15.4%
	3. インターネット	19	4.2%
	4. 家族や親せき、友人・知人	66	14.7%
	5. サービス事業所の人や施設職員	92	20.5%
	6. 障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)	69	15.4%
	7. かかりつけの医師や看護師	28	6.2%
	8. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	12	2.7%
	9. 民生委員・児童委員	3	0.7%
	10. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	12	2.7%
	11. 行政機関の相談窓口	23	5.1%
	12. その他	6	1.3%
問 32 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。 (○は1つだけ)	1. ある	84	46.9%
	2. 少しある	52	29.1%
	3. ない	43	24.0%
【問 32 で、1. 又は 2. と回答された方にお聞きします。】 問 33 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 学校・仕事場	53	20.3%
	2. 仕事を探すとき	10	3.8%
	3. 外出先	87	33.3%
	4. 余暇を楽しむとき	43	16.5%
	5. 病院などの医療機関	27	10.4%
	6. 住んでいる地域	37	14.2%
	7. その他	4	1.5%
問 34 成年後見制度についてご存じですか。 (○は1つだけ)	1. 名前も内容も知っている	78	43.1%
	2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない	58	32.0%
	3. 名前も内容も知らない	45	24.9%
問 35 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。 (○は1つだけ)	1. できる	33	17.3%
	2. できない	123	64.4%
	3. わからない	35	18.3%

質問	回答	回答数	比率
問 36 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(○は1つだけ)	1. いる	33	17.9%
	2. いない	97	52.4%
	3. わからない	55	29.7%
問 37 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 投薬や治療が受けられない	100	15.1%
	2. 補装具の使用が困難になる	20	3.0%
	3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	23	3.5%
	4. 救助を求めることができない	93	14.1%
	5. 安全なところまで、迅速に避難することができない	126	19.0%
	6. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない	60	9.1%
	7. 周囲とコミュニケーションがとれない	99	15.0%
	8. 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	119	18.0%
	9. その他	15	2.3%
	10. 特になし	6	0.9%
問 38 今後、本市が推進する障がい者施策について、特に力を入れるべきことはどのようなことと思いますか。(○は5つまで)	1. 障がいのある人への理解を促進するための啓発活動を進める。	64	6.8%
	2. 人権教育や福祉教育を進め、こころのバリアフリーを進める。	29	3.1%
	3. ホームヘルプサービスや通所サービスなど障害福祉サービスを充実させる。	58	6.2%
	4. 移動支援など外出できるよう支援する。	36	3.8%
	5. 社会参加活動を促進するためさまざまな日中活動の場を増やす。	18	1.9%
	6. グループホームなど地域で生活する住まいの場を増やす。	72	7.6%
	7. 補装具・日常生活用具の利用支援を進める。	9	1.0%
	8. 各種手当や助成制度などの経済的な支援を進める。	59	6.3%
	9. 入所施設や病院から地域生活への移行を進める。	12	1.3%
	10. 障がいのある人の権利を守る権利擁護や成年後見制度を円滑に利用できるようにする。	29	3.1%
	11. 身近なところで相談ができるよう相談支援窓口を増やす。	34	3.6%
	12. 重度の障がいのある人への対応を進める。	34	3.6%
	13. 手帳制度の対象となっていない障がいへの対応を行う。	8	0.8%
	14. 発達障がいや精神保健・精神医療施策を進める。	18	1.9%
	15. 障がいの早期発見に努め、ライフステージに即した支援を行う。	22	2.3%

質問	回答	回答数	比率
	16. 医療現場・リハビリテーションを充実する。	28	3.0%
	17. 保健・医療・福祉などの各関係機関の連携を強くする。	54	5.7%
	18. 一生を通じて、きめ細やかな支援ができるよう体制を整える。	69	7.3%
	19. 早期療育体制を充実させる。	8	0.8%
	20. 障がいの状況に応じた学習方法や特別支援教育の充実など、学校教育の場での充実をはかる。	21	2.2%
	21. スポーツや芸術文化活動を推進する。	6	0.6%
	22. ユニバーサルデザインの推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める。	20	2.1%
	23. 民間住宅への入居支援を進める。	20	2.1%
	24. 災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める。	57	6.0%
	25. 一般企業などへの就労を進める。	12	1.3%
	26. 一般企業などへの就労が困難な障がいのある人が利用できる就労継続支援事業などを増やす。	49	5.2%
	27. 障がいの有無にかかわらず情報が取得できるよう情報のバリアフリーを進める。	17	1.8%
	28. 円滑なコミュニケーションができるように、障がいの状況に応じた適切な支援を充実する。	48	5.1%
	29. その他	28	3.0%
	30. 特にない	2	0.2%
	31. わからない	3	0.3%

(6) 個人へのアンケート調査での主な質問と回答（障がい児）

質問	回答	回答数	比率
問1 お答えいただくのは、どなたですか。 (○は1つだけ)	1. 本人(障がいをお持ちのお子さん)	2	3.1%
	2. 本人の家族	62	96.9%
	3. 家族以外の介助者	0	0.0%
問2 あなたの年齢をお答えください。 (平成26年8月1日現在)	0～5歳	24	37.5%
	6歳～10歳	7	10.9%
	11歳～15歳	18	28.1%
	16歳～	15	23.5%
問3 あなたの性別をお答えください。 (○は1つだけ)	1. 男性	44	68.8%
	2. 女性	20	31.2%
問4 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 父	61	31.3%
	2. 母	62	31.8%
	3. 祖父母	22	11.3%
	4. 兄弟姉妹	49	25.1%
	5. その他	1	0.5%
問5 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)	1. ひとりできる	41	64.1%
	2. 一部介助が必要	17	26.5%
	3. 全部介助が必要	6	9.4%
①食事	1. ひとりできる	32	50.0%
	2. 一部介助が必要	17	26.6%
	3. 全部介助が必要	15	23.4%
②トイレ	1. ひとりできる	26	40.6%
	2. 一部介助が必要	23	35.9%
	3. 全部介助が必要	15	23.5%
③入浴	1. ひとりできる	41	64.1%
	2. 一部介助が必要	15	23.4%
	3. 全部介助が必要	8	12.5%
④衣服の着脱	1. ひとりできる	21	32.8%
	2. 一部介助が必要	27	42.2%
	3. 全部介助が必要	16	25.0%
⑤みだしなみ	1. ひとりできる	55	85.9%
	2. 一部介助が必要	4	6.3%
	3. 全部介助が必要	5	7.8%
⑥家の中の移動	1. ひとりできる	17	27.4%
	2. 一部介助が必要	21	33.9%
	3. 全部介助が必要	24	38.7%
⑦外出	1. ひとりできる	17	27.4%
	2. 一部介助が必要	21	33.9%
	3. 全部介助が必要	24	38.7%

質問	回答	回答数	比率
⑧家族以外の人との意思疎通	1. ひとりできる	21	33.9%
	2. 一部介助が必要	24	38.7%
	3. 全部介助が必要	17	27.4%
⑨お金の管理	1. ひとりできる	2	3.3%
	2. 一部介助が必要	14	22.9%
	3. 全部介助が必要	45	73.8%
⑩薬の管理	1. ひとりできる	2	3.4%
	2. 一部介助が必要	13	22.0%
	3. 全部介助が必要	44	74.6%
【問5で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と答えた方】 問6 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 父	36	27.9%
	2. 母	61	47.3%
	3. 祖父母	15	11.6%
	4. 兄弟姉妹	16	12.4%
	5. ホームヘルパーや施設の職員	1	0.8%
	6. その他の人(ボランティア等)	0	0.0%
【問6で1.～4.を答えた方】 問7 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、健康状態をお答えください。 ①年齢(平成26年8月1日現在)	20代	3	5.1%
	30代	21	35.6%
	40代	30	50.8%
	50代	5	8.5%
②健康状態 (○は1つだけ)	1. よい	36	59.0%
	2. ふつう	23	37.7%
	3. よくない	2	3.3%
問8 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。 (○は1つだけ)	1. 1級	7	11.1%
	2. 2級	1	1.6%
	3. 3級	1	1.6%
	4. 4級	0	0.0%
	5. 5級	1	1.6%
	6. 6級	0	0.0%
	7. 持っていない	53	84.1%
問9 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障がいをお答えください。 (○は1つだけ)	1. 視覚障がい	0	0.0%
	2. 聴覚障がい	0	0.0%
	3. 音声・言語・そしゃく機能障がい	0	0.0%
	4. 肢体不自由(上肢)	0	0.0%
	5. 肢体不自由(下肢)	4	36.4%
	6. 肢体不自由(体幹)	4	36.4%
	7. 内部障がい(1～6以外)	3	27.2%

質問	回答	回答数	比率
問10 あなたは療育手帳をお持ちですか。 (○は1つだけ)	1. A判定	1	1.6%
	2. A1判定	10	15.6%
	3. A2判定	15	23.4%
	4. B1判定	7	11.0%
	5. B2判定	8	12.5%
	6. 持っていない	23	35.9%
問11 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。 (○は1つだけ)	1. 1級	0	0.0%
	2. 2級	0	0.0%
	3. 3級	0	0.0%
	4. 持っていない	59	100.0%
問12 あなたは難病(特定疾患)の認定を受けていますか。 (○は1つだけ)	1. 受けている	2	3.2%
	2. 受けていない	60	96.8%
問13 あなたは発達障がいとして診断されたことがありますか。 (○は1つだけ)	1. ある	31	50.0%
	2. ない	31	50.0%
問14 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。 (あてはまるものすべてに○)	1. 気管切開	1	5.3%
	2. 人工呼吸器(レスピレーター)	1	5.3%
	3. 吸入	1	5.3%
	4. 吸引	2	10.5%
	5. 胃ろう・腸ろう	1	5.3%
	6. 鼻腔経管栄養	0	0.0%
	7. 中心静脈栄養(IVH)	0	0.0%
	8. 透析	0	0.0%
	9. カテーテル留置	0	0.0%
	10. ストマ(人工肛門・人工膀胱)	0	0.0%
	11. 服薬管理	10	52.6%
	12. その他	3	15.7%
問15 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。 (○は1つだけ)	1. 毎日外出する	42	65.6%
	2. 1週間に数回外出する	20	31.3%
	3. めったに外出しない	2	3.1%
	4. まったく外出しない	0	0.0%
【問16から問19は、問15で、4. 以外を選択した場合にお答えください。】 問16 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。 (○は1つだけ)	1. 父	8	11.8%
	2. 母	57	83.8%
	3. 祖父母	0	0.0%
	4. 兄弟姉妹	0	0.0%
	5. ホームヘルパーや施設の職員	0	0.0%
	6. その他の人(ボランティア等)	0	0.0%
	7. 一人で外出する	3	4.4%

質問	回答	回答数	比率
問 17 あなたが外出する際の主な交通手段はどのようなものですか。(○は1つだけ)	1. 自転車	4	5.7%
	2. 車いす・電動車いす	1	1.4%
	3. 家族が運転する自動車	54	77.2%
	4. 電車	0	0.0%
	5. 路線バス	2	2.9%
	6. 施設等の送迎バス	0	0.0%
	7. タクシー	0	0.0%
	8. 徒歩	8	11.4%
	9. その他	1	1.4%
問 18 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 通勤・通学・通所	53	32.1%
	2. 訓練やリハビリに行く	11	6.7%
	3. 医療機関への受診	19	11.5%
	4. 買い物に行く	45	27.3%
	5. 友人・知人に会う	7	4.2%
	6. 趣味やスポーツをする	9	5.5%
	7. グループ活動に参加する	2	1.2%
	8. 散歩に行く	17	10.3%
	9. その他	2	1.2%
問 19 外出する時に困ることは何ですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 公共交通機関が少ない(ない)	8	9.9%
	2. 列車やバスの乗り降りが困難	5	6.2%
	3. 道路や駅に階段や段差が多い	6	7.4%
	4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい	9	11.1%
	5. 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど)	6	7.4%
	6. 介助者が確保できない	5	6.2%
	7. 外出にお金がかかる	5	6.2%
	8. 周囲の目が気になる	15	18.5%
	9. 発作など突然の身体の変化が心配	3	3.7%
	10. 困った時にどうすればいいのか心配	16	19.7%
	11. その他	3	3.7%
問 20 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。 (○は1つだけ)	1. 特別支援学校の小学部に通っている	10	16.1%
	2. 特別支援学校の中学部に通っている	10	16.1%
	3. 特別支援学校の高等部に通っている	19	30.6%
	4. 幼稚園、保育所、障害児通所施設などに通っている	19	30.6%
	5. その他	4	6.6%

質問	回答	回答数	比率
【問21は、問20で、1.又は2.を選択した場合にお答えください】 問21 本市では、特別支援学校小中学部の児童を、放課後や夏休みに、かわなみ作業所などであずかる放課後等支援事業を実施しています。これについてお答えください。 (○は1つだけ)	1. 制度を利用している	12	46.2%
	2. 今は利用していないが、今後利用したい	4	15.4%
	3. 利用希望はない	9	34.6%
	4. その他	1	3.8%
【問22は、問20で、2.又は3.を選択した場合にお答えください。】 問22 あなたは、学校を卒業してから、日中をどのように過ごしたいですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 正規雇用者として働きたい	12	22.6%
	2. 正規雇用者以外(アルバイト、パートなど)として働きたい	6	11.3%
	3. 自営業をしたい(家の仕事を手伝いたい)	0	0.0%
	4. 障がい者のための通所サービス(就労継続支援など)を利用したい	23	43.4%
	5. 病院等のデイケアを利用したい	1	1.9%
	6. リハビリテーションを受けたい	3	5.7%
	7. 短大・大学・専門学校などに通いたい	2	3.7%
	8. 職業訓練校に通いたい	3	5.7%
	9. ボランティアなどの社会活動を行いたい	0	0.0%
	10. 家庭内で過ごしたい	0	0.0%
	11. その他	0	0.0%
	12. わからない	3	5.7%
【問23は、問20で、2.又は3.を選択した場合にお答えください。】 問23 あなたは、学校を卒業してから、どのように暮らしたいですか。 (○は1つだけ)	1. 家族と一緒に生活したい	25	75.8%
	2. グループホームなどを利用したい	3	9.1%
	3. 一般の住宅で一人暮らしをしたい	0	0.0%
	4. 入所施設に入りたい	1	3.0%
	5. その他	0	0.0%
	6. わからない	4	12.1%
問24 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)	1. 区分1	0	0.0%
	2. 区分2	6	10.3%
	3. 区分3	3	5.2%
	4. 受けていない	49	84.5%
問25 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。 ①居宅介護	1. 利用している	2	3.6%
	2. 利用していない	53	96.4%
	1. 今後利用したい	8	15.1%
	2. 今後利用しない	45	84.9%
②重度訪問介護	1. 利用している	1	1.9%
	2. 利用していない	53	98.1%
	1. 今後利用したい	4	8.2%
	2. 今後利用しない	45	91.8%

質問	回答	回答数	比率
③同行援護	1. 利用している	0	0.0%
	2. 利用していない	35	100.0%
	1. 今後利用したい	1	3.0%
	2. 今後利用しない	32	97.0%
④行動援護	1. 利用している	6	11.3%
	2. 利用していない	47	88.7%
	1. 今後利用したい	23	46.9%
	2. 今後利用しない	26	53.1%
⑤重度障害者等包括支援	1. 利用している	0	0.0%
	2. 利用していない	51	100.0%
	1. 今後利用したい	2	4.1%
	2. 今後利用しない	47	95.9%
⑥生活介護	1. 今後利用したい	11	21.6%
	2. 今後利用しない	40	78.4%
⑦自立訓練(機能訓練、生活訓練)	1. 今後利用したい	26	50.0%
	2. 今後利用しない	26	50.0%
⑧就労移行支援	1. 今後利用したい	28	50.9%
	2. 今後利用しない	27	49.1%
⑨就労継続支援(A型、B型)	1. 今後利用したい	26	50.0%
	2. 今後利用しない	26	50.0%
⑩療養介護	1. 今後利用したい	5	10.6%
	2. 今後利用しない	42	89.4%
⑪短期入所(ショートステイ)	1. 利用している	1	3.6%
	2. 利用していない	27	96.4%
	1. 今後利用したい	19	38.0%
	2. 今後利用しない	31	62.0%
⑫共同生活援助(グループホーム)	1. 今後利用したい	22	42.3%
	2. 今後利用しない	30	57.7%
⑬施設入所支援	1. 今後利用したい	9	18.4%
	2. 今後利用しない	40	81.6%
⑭児童発達支援	1. 利用している	14	31.1%
	2. 利用していない	31	68.9%
	1. 今後利用したい	29	60.4%
	2. 今後利用しない	19	39.6%

質問	回答	回答数	比率
⑮放課後等デイサービス	1. 利用している	13	25.0%
	2. 利用していない	39	75.0%
	1. 今後利用したい	31	60.8%
	2. 今後利用しない	20	39.2%
⑯保育所等訪問支援	1. 利用している	0	0.0%
	2. 利用していない	45	100.0%
	1. 今後利用したい	16	33.3%
	2. 今後利用しない	32	66.7%
⑰医療型児童発達支援	1. 利用している	1	2.2%
	2. 利用していない	44	97.8%
	1. 今後利用したい	22	44.9%
	2. 今後利用しない	27	55.1%
問 26 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 家族や親せき	51	42.1%
	2. 友人・知人	21	17.4%
	3. 近所の人	0	0.0%
	4. 職場の上司や同僚	3	2.5%
	5. 施設の指導員など	8	6.6%
	6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人	8	6.6%
	7. 障がい者団体や家族会	4	3.3%
	8. かかりつけの医師や看護師	16	13.2%
	9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	1	0.8%
	10. 民生委員・児童委員	0	0.0%
	11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	3	2.5%
	12. 行政機関の相談窓口	2	1.7%
	13. その他	4	3.3%
問 27 あなたは障がいのことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース	18	16.5%
	2. 行政機関の広報誌	12	11.0%
	3. インターネット	8	7.3%
	4. 家族や親せき、友人・知人	36	33.0%
	5. サービス事業所の人や施設職員	11	10.1%
	6. 障がい者団体や家族会(団体の機関誌など)	5	4.6%
	7. かかりつけの医師や看護師	8	7.3%
	8. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネジャー	1	0.9%

質問	回答	回答数	比率
	9. 民生委員・児童委員	0	0.0%
	10. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	4	3.7%
	11. 行政機関の相談窓口	4	3.7%
	12. その他	2	1.9%
問 28 あなたは、障がいがあることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。 (○は1つだけ)	1. ある	16	28.1%
	2. 少しある	20	35.1%
	3. ない	21	36.8%
【問 28 で、1. 又は 2. と回答された方にお聞きします。】 問 29 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 学校	12	17.9%
	2. 外出先	30	44.8%
	3. 余暇を楽しむとき	8	12.0%
	4. 病院などの医療機関	10	14.9%
	5. 住んでいる地域	7	10.4%
	6. その他	0	0.0%
問 30 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。 (○は1つだけ)	1. できる	4	6.4%
	2. できない	46	74.2%
	3. わからない	12	19.4%
問 31 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。 (○は1つだけ)	1. いる	15	26.3%
	2. いない	27	47.4%
	3. わからない	15	26.3%
問 32 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。 (あてはまるものすべてに○)	1. 投薬や治療が受けられない	9	5.0%
	2. 補装具の使用が困難になる	2	1.1%
	3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる	7	3.9%
	4. 救助を求めることができない	28	15.6%
	5. 安全なところまで、迅速に避難することができない	34	19.0%
	6. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない	23	12.8%
	7. 周囲とコミュニケーションがとれない	33	18.5%
	8. 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安	33	18.5%
	9. その他	3	1.7%
	10. 特にない	7	3.9%

質問	回答	回答数	比率
問 33 今後、本市が推進する障がい者施策について、特に力を入れるべきことはどのようなことと思いますか。(〇は5つまで)	1. 障がいのある人への理解を促進するための啓発活動を進める。	14	4.4%
	2. 人権教育や福祉教育を進め、こころのバリアフリーを進める。	11	3.4%
	3. ホームヘルプサービスや通所サービスなど障害福祉サービスを充実させる。	17	5.3%
	4. 移動支援など外出できるよう支援する。	7	2.2%
	5. 社会参加活動を促進するためさまざまな日中活動の場を増やす。	4	1.3%
	6. グループホームなど地域で生活する住まいの場を増やす。	18	5.6%
	7. 補装具・日常生活用具の利用支援を進める。	2	0.6%
	8. 各種手当や助成制度などの経済的な支援を進める。	17	5.3%
	9. 入所施設や病院から地域生活への移行を進める。	2	0.6%
	10. 障がいのある人の権利を守る権利擁護や成年後見制度を円滑に利用できるようにする。	8	2.5%
	11. 身近なところで相談ができるよう相談支援窓口を増やす。	11	3.4%
	12. 重度の障がいのある人への対応を進める。	6	1.9%
	13. 手帳制度の対象となっていない障がいへの対応を行う。	7	2.2%
	14. 発達障がいや精神保健・精神医療施策を進める。	10	3.1%
	15. 障がいの早期発見に努め、ライフステージに即した支援を行う。	7	2.2%
	16. 医療現場・リハビリテーションを充実する。	10	3.1%
	17. 保健・医療・福祉などの各関係機関の連携を強くする。	16	5.0%
	18. 一生を通じて、きめ細やかな支援ができるよう体制を整える。	35	11.0%
	19. 早期療育体制を充実させる。	9	2.8%
	20. 障がいの状況に応じた学習方法や特別支援教育の充実など、学校教育の場での充実をはかる。	24	7.5%
	21. スポーツや芸術文化活動を推進する。	4	1.3%
	22. ユニバーサルデザインの推進など、すべての人が利用しやすい都市環境整備を進める。	2	0.6%

質問	回答	回答数	比率
	23. 民間住宅への入居支援を進める。	1	0.3%
	24. 災害時の避難・救助体制の充実など防災対策を進める。	15	4.7%
	25. 一般企業などのへの就労を進める。	11	3.4%
	26. 一般企業などへの就労が困難な障がいのある人が利用できる就労継続支援事業などを増やす。	23	7.2%
	27. 障がいの有無にかかわらず情報が取得できるよう情報のバリアフリーを進める。	7	2.2%
	28. 円滑なコミュニケーションができるように、障がいの状況に応じた適切な支援を充実する。	13	4.1%
	29. その他	9	2.8%
	30. 特にない	0	0.0%
	31. わからない	0	0.0%

(7) 団体・施設の代表者へのアンケート調査で挙げられた主な意見

ア 障がい者福祉に関する活動を行っていく上での課題や今後の活動の展望等

- ①保護者の高齢化への対応、若い保護者の就労機会の確保のために、入所人数の増を希望。既存施設の再利用も検討。
- ②ボランティア不足のため、事業の計画が困難である。
- ③親が世話できなくなったときのためにグループホームの創設を検討しているが、土地・資金の確保で課題が生じる。
- ④精神障がいにおける医療の発達により、当事者の地域移行・社会参加が促進され、日中活動の場がより求められる。
- ⑤手話通訳の設置を促進してゆく。
- ⑥障がい者が地域で安心した生活を送れることが共通課題であり、そのためにグループホームや短期入所サービスの充実させるため、活動してゆく。
- ⑦今後は、より多くの子ども達がより充実した療育をいかに家族の負担を増やさずに行っていけるかが課題となる。
- ⑧会員数が減少しており、会全体の活動にも支障を来たしている。
- ⑨会員の高齢化が進み、行事への参加者が少なく固定化傾向にある。若い世代が興味を持つ活動を模索してゆく。
- ⑩市民・地域への啓発活動、理解協力の推進。介護者・支援者の学習・教育により、あらゆる面での格差解消を目指してゆく。

イ 障がい者に対する市民の意識について

- ①知的障がい等の人々が奇声を発したりするときの周りの視線が冷たい。
- ②特別扱いが多いことが残念である。
- ③車いすを利用する際に、親切な方もいれば迷惑そうな目で見られる方もいる。
- ④知的障がいの方は、身体障がいの方に比べ、自由に動ける分、かえって迷惑がられる傾向がある。特に自閉症に対する意識が薄い。
- ⑤報道における配慮が不足している。
- ⑥手話を使う人が少ない。
- ⑦知的障がい・自閉症・発達障がいへの理解を深めていただきたい。
- ⑧精神障がいの人について、以前よりはアパートを借りることが容易になった。
- ⑨内部障がいや難病は、外観上健常者と変わらないため、認識がされにくい。
- ⑩公的支援は重要不可欠なのに、過大な援助を受けていると誤解され妬まれることがある。

ウ 障害者総合支援法に基づくサービスについての課題・提案・意見等

- ①緊急時にサービス利用（短期入所や日中一時支援）ができる仕組みを希望する。
- ②計画相談により、サービスを知る機会は増え相談窓口もはっきりしてきたが、まだまだ利用できるサービス自体が少ない。

- ③グループホーム家賃補助の増額等、経済的支援の増を希望。今のままでは、保護者等の経済的支援を失った後、本人が生活をしていけない。
- ④障害支援区分は、以前に比べれば知的障がいの特性を反映しているが、まだ不十分である。
- ⑤計画相談が開始されたが、すぐにサービスを利用できないという弊害がある。
- ⑥難病が障害福祉サービスの対象となったが、支援側の後押しがないと利用しにくい。
- ⑦地域格差のないサービス提供を希望する。
- ⑧医療的ケアが必要などの理由により、法的なサービスを平等に受けられない人が多数いる。
- ⑨サービスの支給決定を受けても、利用できる事業所が少ない。
- ⑩一生を通して支援が受けられるよう総合支援センター的なものを希望する。

エ 障がい者の就労促進についての課題・提案・今後の団体の活動等

- ①施設通所者で一般就労まで考えている者は少ない。環境の変化を恐れている。
- ②就労継続支援事業所が増えているのはありがたいが、午前のみで終わる事業所もあり、働く意欲はあるのに、時間を持て余すという問題がある。
- ③障がいの特性がわかっているコーディネーター等、本人と企業の間に入る相談支援機関の充実を希望する。
- ④会社の中での手話の使用を希望する。
- ⑤仕事を細分化し、支援体制を整えていただければ、障がい者の働く機会は増えると思う。
- ⑥一部の企業では積極的に雇用しているが、全体的にはまだ雇用のための工夫や努力が不足している。
- ⑦福祉就労施設も定員に達していることが多く、施設増設の補助や職員が安定して働ける賃金補助が必要である。
- ⑧就労継続支援A型事業所が増えたことにより、一般就労への移行の可能性を狭めていると思われる。就労移行支援事業の利用により一般就労へつなげていくことがよいと思われる。
- ⑨難病の者も就労継続支援や就労移行支援を利用できるようになったのはありがたいが、一般就労につなげようとする、難病は障害者雇用率に反映されないため、課題が生じる。
- ⑩企業側での障がい特性の理解とそれにあつた支援が必須である。

オ その他、大垣市の障がい者施策への意見・要望等

- ①障がいを持つ子の親は、自身に病気が見つかって、子を長期に預ける施設がなく、我慢してしまうことが多い。こういった課題について対処法を考えてほ

- しい。
- ②点字ブロックや音声案内の設置については、事前に当事者団体に相談をしていただきたい。
 - ③障害支援区分認定のための調査を、以前は家庭で受けていたが、今は作業所で受けられるのでありがたい。
 - ④短期入所・日中一時支援の事業所を市内に増やしてほしい。
 - ⑤障がいがあるとわかった時点から、一生を通しての支援体制を構築してほしい。
 - ⑥入所も通所もしていない在宅の障がい者への情報提供を促進してほしい。
 - ⑦市内の児童発達支援の施設にリハビリの専門家を置いてほしい。
 - ⑧施設建設の際に市が地元住民との仲介役を担うと同時に、市民の理解促進となるような講演会を開催してほしい。
 - ⑨福祉就労施設の職員の処遇は悪く離職率が高い。施設建設補助・運営補助により施設への援助をしてほしい。
 - ⑩透析患者として、基幹病院において災害時でも人工透析が受けられるようにしてほしい。
 - ⑪NPO法人による移送サービスを増やしてほしい。
 - ⑫障がい者用駐車場を増やし、手帳を所持していない難病患者でも利用可能としてほしい。
 - ⑬障がい児の親の就労機会確保のため、放課後の預かり事業を充実してほしい。
 - ⑭たん吸引などの医療的ケアの可能な介助者の養成事業を行ってほしい。
 - ⑮施策の内容や進捗状況について説明の機会を作ってほしい。